

[バード・ウエル]

# Bird-Well

鳥井おさむ後援会だより

vol.28

2019

討議資料

## あけまして おめでとうございます



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より私の政治活動および後援会活動に對しご理解とご協力、また、多くの皆さま、地域の方々に支えていただき、心より御礼申しあげます。

さて、昨年は多くの自然災害に見舞われた年でした。被災された方やお亡くなりになられた方々に対し心より哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

現在、秋田県は最重要課題でもある大規模災害への対応をはじめ、少子高齢化・人口減少など様々な課題を抱えています。行政と県民

市民が共通認識のもと情報共有と連携を図るなど課題をひとつずつ解決し、住みよい秋田を次の世代に引き継がなければなりません。そのことは政治の責任であり、我々大人の責任でもあります。

今後も自ら足を運び共に汗を流し、県政発展と県民の皆さまが真に幸せを実感できる街づくりに向け、全力で取り組んでいく所存であります。今後とも皆さまから力強いご支援のほどよろしくお願ひいたします。

本年も皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

鳥井おさむ

Akita Key Vision あなたと共に歩み、考え、実行する、  
**秋田の未来創生!**

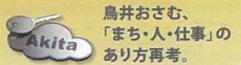
批判なら誰にでもできる。大切なことは、共に考え行動すること。

<http://torii-osamu.com/>

とりいおさむ

検索

秋田で生まれ、秋田で育ち、秋田で働く、すべての人のために!

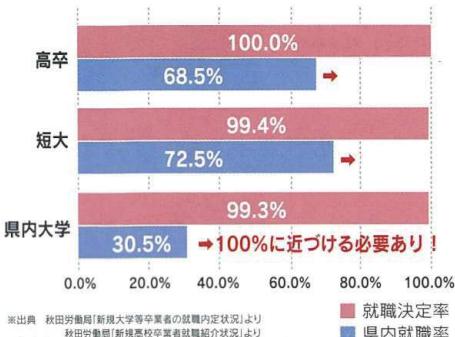


Akita Key Vision

# Restart 烏井お

## 現状

### 【秋田県内の卒業者の就職決定率および県内就職率】



### 【若者の郷土離れ】



【原因】秋田には多岐にわたる魅力が沢山あるのに、秋田=何もないという認識が生まれ、郷土愛が薄れたため。



## 課題

### 1. 若者の県内定着・還流

地元に就職したいが、希望する職種および環境に見合った就職先・賃金・待遇の就労環境が低く感じる。

### 2. 魅力ある地元産業のPRが不足している。

## 鳥井はこう考える

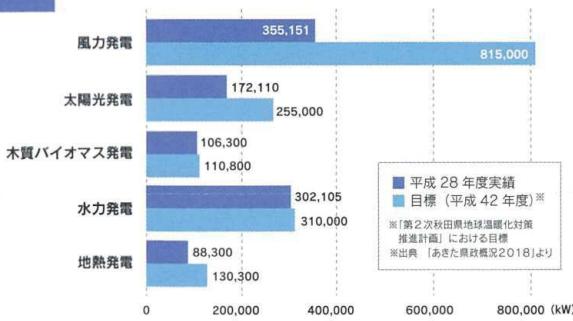
### 1. 郷土愛を育む一環で、秋田の良いところを自慢できる（おらほ自慢）教育づくりを推進します。<若者の県内定着に必ずつながります>

### 2. 「秋田ポジティブキャンペーン」を展開し、秋田の良さを発信する秋田県民全員参加型のPR活動を行います。（多岐にわたる魅力が沢山ある秋田を浸透させ、もっと地元秋田に誇りと郷土愛をもてるようポジティブな秋田を広めます。）

秋田県の学力は全国トップレベルです。県民資質を活かし、秋田で育ち、秋田で働く人材を定着させるために、秋田の魅力ある地元産業の育成に取り組みます。また、県外流出を防ぐためにも、魅力ある県内の企業など各種産業の更なるPRの強化に取組み、次世代層へ「秋田の良さ」を発信していきます。県民一人ひとりが広報大使として、県外へ秋田の良さを一つでもPRするような県民全員参加型の「秋田ポジティブキャンペーン」といったものを実施したいと考えています。

## 現状

### ①【新エネルギー導入状況】



- 秋田には火力発電所、水力発電所、地熱発電所などベース電源となる電源が確保できるが、電源容量が足りない。
- 風力発電所や太陽光発電所が急増しているものの、ベース電源ではないことが伝わっていない。(風がないと発電できない。太陽光は日照時しか発電できない)

### ②【外国人観光客の状況】



- 平成29年度の外国人観光客の1人あたりの支出額は平均で15万4千円。（観光庁による調査結果）
- 外国人宿泊者数の東北の占める割合は、全国の約0.9%に過ぎず、秋田県は、東北の中でもシェアが最下位である。

## 課題

- ① 風力発電など、自然エネルギーを普及させるうえでの必要な電源構成や現場での課題への対応についてあまり理解されていない。
- ② 海外市場に対して、東北地方（秋田県）が知られていない。  
また、秋田の良さや魅力あるコンテンツが海外に伝わっていない。

## 鳥井はこう考える

- ① 自然エネルギーを活かした安定的な電力確保について、正確な情報を発信し、多様なエネルギー源の必要性（エネルギー・ミックス）について訴求します。また、秋田の新しい産業として定着するよう、長期的な視野をもって秋田の雇用や産業の発展につなげます。
- ② 秋田県の郷土料理「きりたんぽ」や「稲庭うどん」、国重要無形民俗文化財の「秋田竿燈まつり」、「男鹿のなまはげ」等、秋田の食文化や歴史物を「秋田の魅力」としてSNS等で情報発信し、外国人観光客の誘客に取り組みます。

## 未来担う人材育成 「秋田ポジティブキャンペーン」活動を開催します。

## 多様なエネルギー創出と 外国人観光客増加を目指します。

## 産業と雇用発展

火力、水力、地熱、風力、太陽光など、秋田県は日本海側の重要な電源立地県です。特に風力発電は、ますます発展が期待でき、人材育成と雇用をつくる大きな可能性を秘めています。

秋田県の資源を伸ばすためにも、皆さまへ正確な情報を伝え、多様なエネルギー源の必要性について訴求し、雇用や産業の発展に繋げてまいります。

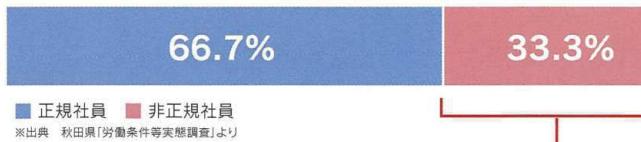
また、自然に恵まれている秋田の魅力を発信し、外国人観光客の誘客など国内・国外へ発信していく取り組みを提案してまいります。

# さむはこう考える



## 現状

### 【秋田県内の正規・非正規雇用者の割合】



#### 非正規社員が職場に望むこと

- ・正社員にしてほしい
- ・賃金を上げてほしい



県内的人口割合を見ると、20代から30代の割合が低く、県外への流出に歯止めがかかる状況が分かれています。若者の雇用の確保が人口流出防止、少子化対策へ直接繋がりますので、若者が働き続けられる場所創り等に取り組みたいと考えます。

また、正規雇用者に比べ賃金体系が不安定な非正規雇用者への支援にも取り組むことで生活・経済面での安定を生み出し、結婚や子供保育・子育てへの促進に繋げたいと考えます。

## 課題

鳥井は  
こう  
考える

1. 非正規社員からの正社員化  
(安定した収入が必要)
1. 「秋田市アンダー40正社員化促進事業補助金」(秋田市施策)制度を各市町村と連携し、県内に拡充します。
2. ペンチャー企業の発掘に取り組み、支援します。  
(魅力ある企業を発掘し、若者の雇用確保や県外流出への防止につなげます。)

## 現状

### 【地域コミュニティの希薄化】



- ・子ども達が親元を離れ、若い世代が地元から離れてしまう。
- ・人とのつながりが徐々に薄れてきている。
- ・高齢になっても生きがいをもって暮らすために高齢者も外に出られるような場所や環境づくりが必要。



## 課題

鳥井は  
こう  
考える

1. 地域コミュニティの希薄化
2. 年間を通して、集える場所や機会が少ない。(すべての世代)
1. 世代間交流を県内各地に広め、地域コミュニティを活発にしていきます。  
(市議会議員時代に要望して実現できた「御所野児童センター」は児童センターとコミュニティセンターを兼ね備えており、子どもやお年寄りが交流できる場となっています。定期的に餅つき大会やウォーキング等の世代間交流が図られ、地域コミュニティに寄与しています。)
2. 公共施設(閉校した学校等)の利活用で、子どもからお年寄りまで集える場所創りを目指します。

若者の雇用支援と  
県内就職を促進します。

# 人口減少打開

世代間交流を行える  
地域コミュニティの充実を図ります。

秋田県内の地域コミュニティが希薄化している現状に心配しています。子供達が親元を離れ、人とのつながりが徐々に薄れてきています。生きがいを持つて暮らすためにも、高齢者も外出されるような場所や環境作りが必要だと考えます。

# 高齢化社会の絆創出

# 「鳥井おさむ後援会」会長からのご挨拶

日頃より鳥井おさむ後援会の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

本県は人手不足に対する対応が喫緊の課題であり、「物作りが廃れれば地域は滅ぶ」と言った話があるように、人手不足は社会・経済・地域全体に支障をきたす深刻な課題となっております。

また、県都秋田市では、外旭川へのイオンタウン出店計画を巡る動きや、新屋に配備が検討されているイージス・アショアなど、直面する諸課題を抱えております。

鳥井おさむは、市議会議員時代、提案される議案に内在する問題点を指摘し、経済環境や教育改革と幅広く当局へその考えを質しました。さらに新会派を立ち上げ、請願・陳情要請行動にも会派会長として手腕を発揮するなど、その存在を高めてきました。

秋田の未来を見据え、旺盛な行動力で、諸課題を克服してくれるものと期待しております。この4年間しっかりと活動し苦労した鳥井おさむに対し皆様のさらなるご支援とご協力をお願いいたします。



鳥井おさむ後援会会長 芦田 晃敏

## これまでの主な活動 2018

### 御所野小学校で講話

### 挨拶運動（少年指導委員）

### 秋田市タグラグビー大会

### 秋田竿燈まつり

皆さまの声に耳を傾け、  
よりよい秋田をつくる。  
地元である御所野小学校からの依頼で、地域の現状と課題について講話をしました。これから、「秋田のすばらしさ、地元大事にする」2点を伝えました。子供たち自らが秋田の魅力を発信できるよう取り組んでいきたいと考えます。（2018年10月）



## 鳥井おさむ PROFILE



1990年／東北電力 VS 秋田市役所（左中央・鳥井）

○昭和42年10月6日 東京都府中市生まれ ○妻・晴弥・長女・杏弥の三人家族  
○父親・五城目町出身・母親・東京都出身 ○祖父・鳥井森鈴（秋田追分の生みの親）

昭和61年 3月 国学院大学久我山高校卒業  
平成 2年 3月 日本体育大学体育学部体育学科卒業  
平成 2年 4月 東北電力秋田支店営業広報部入社  
平成3年～6年 東北電力ラグビー部入部  
平成2年～11年 東北電力ラグビー部主将  
平成8年 8月 全秋田ラグビーチーム選出  
平成 8年 8月 秋田市御所野に居をかまえる  
平成15年 4月 秋田市議会議員初当選  
平成17年 7月 教育産業委員会副委員長

平成19年 4月 秋田市議会議員2期目当選  
市民クラブ幹事長  
平成19年 6月 教育産業委員会委員長  
平成21年 6月 総務委員会・市民クラブ幹事長（再任）  
平成22年10月 決算期特別委員会委員長  
平成23年 4月 秋田市議会議員3期目当選  
会派「希望」会長  
平成25年 6月 秋田市監査委員

【主な役職】 連合秋田議員懇談会事務局長、秋田県ラグビーフットボール協会常任理事、秋田市ラグビーフットボール協会会長、秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ理事、秋田市御所野地区体育協会会長、秋田市少年指導センター南部地区少年指導委員会会長、秋田市民謡連盟顧問、秋田市エコ青少年ラグビーチーム顧問、元秋田市立御所野学院高等学校PTA会長、元秋田市立御所野学院中学校教育振興会会長、元秋田市立御所野学院中学校PTA会長、元秋田市立御所野小学校PTA副会長

鳥井おさむの  
オフィシャルHPは  
こちらから▶



鳥井おさむの  
フェイスブックは  
こちらから▶



### 後援会員 募集！

後援会に入会希望の方は、  
お電話・メールでお申込みください。

鳥井おさむは地域の皆様へ元気をお届けします。  
どんな小さな集まりでも構いません。日頃思うこと何でも結構ですので、  
皆様の声を「鳥井おさむ」に聞かせてください。